

(東証一部)

証券コード: 4550

成長戦略へ向けて

代表取締役社長執行役員 小野 徳哉

平成30年2月17日



日水製薬株式会社

目次 ～成長戦略へ向けて～

Vision 1. 会社紹介

Vision 2. 当社株式について

Vision 3. 成長戦略へ向けて

Vision 1. 会社紹介

会社概要



日水製薬株式会社

当社は、日本水産株式会社



ファインケミカル事業におけるグループ企業です

水産
事業

食品
事業

ファインケミカル
事業

物流
事業

海洋関連
などの事業



会社概要



日水製薬株式会社

創業： 1935年(昭和10年)4月6日

資本金： 44億4,984万円

商号： 日水製薬株式会社

代表取締役社長執行役員： 小野 徳哉

本社所在地： 東京都台東区上野3丁目24番6号

業種： 医薬品

上野フロンティアタワー

上場証券取引所：

東京証券取引所第一部 証券コード：4550



主な事業内容：

○診断薬事業

臨床診断薬： 病気の診断や早期発見に寄与

産業検査薬： 食品の衛生管理を支援

○医薬事業

セルフメディケーションの推進(OTC医薬品・健康食品)

連結子会社：

日水製薬医薬品販売株式会社

株式構成（平成29年9月30日現在）

発行可能株式総数： 44, 000, 000株

発行済株式の総数： 22, 547, 140株（うち、自己株式151, 828株）

株主数： 9, 872名（前期末比 673名増）

主要株主：

1	日本水産株式会社	12,106（千株）	53.69 %
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	382（千株）	1.70 %
3	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	320（千株）	1.42 %
4	日水物流株式会社	283（千株）	1.21 %
5	日水製薬持株会	257（千株）	1.14 %
6	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	199（千株）	0.88 %
7	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	158（千株）	0.70 %
8	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口1）	124（千株）	0.55 %
9	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口2）	115（千株）	0.51 %
10	CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUT ESCROW	110（千株）	0.49 %

■ 個人・その他 ■ その他法人 ■ 外国法人等 ■ 金融商品取引業者 ■ 金融機関 ■ 自己株式

（人数）

株主数
分布





当社は、昭和10年(1935年)に株式会社日産水産研究所として創業し、漁業や水産資源の高度活用など、多岐にわたる研究に取り組んでおりました。日本はかつて捕鯨大国でしたが、鯨の肝臓から増血栄養剤を生産したり、動物胆汁から胃腸薬などを製造及び販売をしておりました。そして現在では、医療機関などの臨床検査において多様なニーズに応える臨床診断薬、企業や研究機関などで使用される寒天培地などの産業検査薬、天然資源を活かした独創的な医薬品の各事業領域が柱となっております。

昨今の当社を取り巻く環境は、新たな技術開発や提携によりグローバル化が促進し日進月歩で変貌を遂げており、あらゆる局面でスピードが求められています。当社では、経営方針として、「長期的に持続的成長をする企業」を掲げております。お客様の求める製品・品質・サービスを基軸に、積極的投資によるオープンイノベーションを推進すべく、2016年度を起点とする3ヵ年間の中期経営計画に基づき、既存事業の育成と新規事業推進による新たな価値の創出を目指しております。各事業領域それぞれの成長領域へ集中的に経営資源を配分するとともに、より迅速に高品質な製品やサービスをご提供することで、お客様の期待にお応えしていく所存でございます。

当社は、これからも社会的規範、企業倫理、法令を遵守し、企業の社会的責任(CSR)を果たし、常に皆様信頼されるべく、持続的成長を目指し、社会に貢献できる企業となるよう努力してまいりますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員

小野 徳哉

主な沿革

1935年(昭和10年)、株式会社日産水産研究所として創業し、漁業や水産資源の高度活用など、多岐にわたる研究成果を事業として発展させ、日本の水産業の近代化とともに歴史を歩んできました。1962年(昭和37年)に現在の社名に変更してからも、それらのDNAは今日における診断薬や医薬品の研究・開発に受け継がれております。

1935年

1935年(昭和10年)

「株式会社日産水産研究所」創業

1937年(昭和12年)

鯨肝臓から増血栄養剤、
動物胆汁から胃腸薬
の製造・販売を開始(医薬品分野)

1952年(昭和27年)

SS寒天培地の製造・販売を開始
(診断薬分野)

1962年(昭和37年)

現社名に変更

1950年

1970年(昭和45年)

日本水産株式会社 中央研究所内から
研究室を当社に移転

1990年(平成2年)

東京証券取引所 第二部に株式上場

2006年(平成18年)

東京証券取引所 第一部銘柄に指定

1975年

2000年

2015年(平成27年)

創業80年



おかげさまで80年

2016年(平成28年)

【連結子会社の設立】
日水製薬医薬品販売
ニッスイファルマ・コスメティックス

2017年(平成29年)

【連結子会社】ニッスイファルマ・コスメティックスの
全株式を株式会社千趣会へ譲渡(化粧品分野)

2017年

Nissui Pharma Communication

日水製薬に脈々と受け継がれるDNA



結城工場(診断薬工場)



再生医療向け培地製造工場



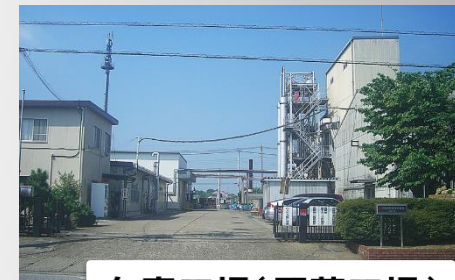
製品開発・先端技術研究所



営業所： 7 拠点
東京・大阪・札幌・仙台・
名古屋・広島・福岡



つくば工場(医薬工場)



久喜工場(原薬工場)



サプライチェーンマネジメントセンター
(物流・受注)

Vision 2. 当社株式について

株式情報

上場証券取引所
証券コード

東証一部 4550

一単位株式数

100株

株主数

9,398名(単元株主)
平成29年12月末日現在

株価

1,545円
平成29年12月29日終値

時価総額

348億35百万円
平成29年12月29日現在

財務概況

総資産額

355億07百万円
平成29年12月末日現在

自己資本

324億96百万円
平成29年12月末日現在

自己資本比率

92.0%
平成29年12月末日現在

利益剰余金

227億66百万円
平成29年12月末日現在

借入金残高

0円
平成29年12月末日現在

株価の推移(過去10年)

成長分野へ積極的投資・新サービスの創出に注力。

平成29年12月29日 終値:1,545円

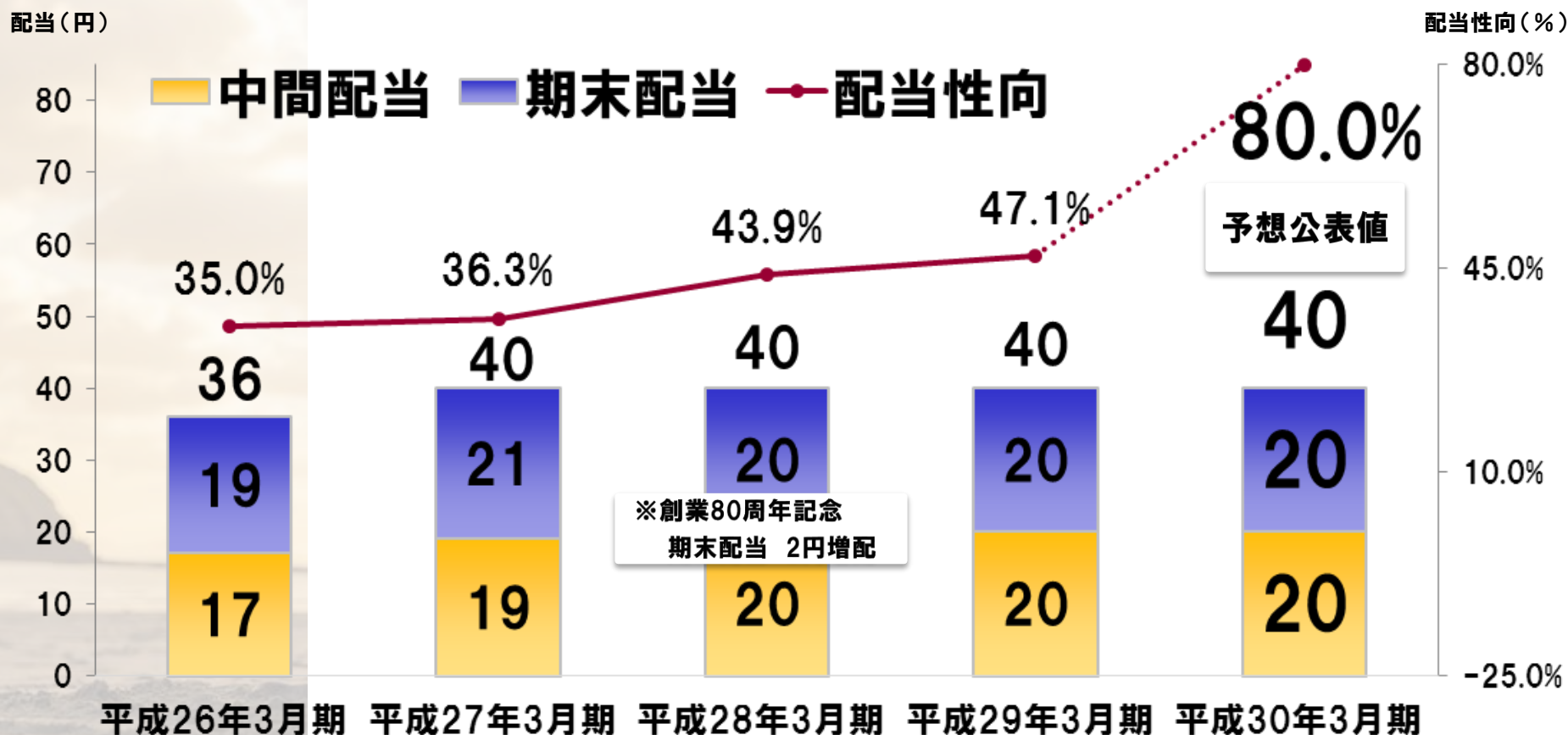
東証株価(過去10年)
最高値:1,599円(平成29年)
最安値: 582円(平成20年)



Graph : Monex, Inc.

利益分配等に関する方針

当社は、収益力向上による利益還元を、企業経営の重要な使命と認識しております。事業の成長を実現するための投資を重視しつつ、配当性向30%を目処として、配当を実施していく方針を維持しております。



株主優待制度

当社株式への投資魅力向上と株主還元を目的としています。

対象株主となる基準日

毎年3月31日、9月30日
(年2回)

対象株主となる株数

1. 100株以上500株未満
2. 500株以上1,000株未満
3. 1,000株以上

株主優待品

1. QUOカード(500円券)
2. 3,000円相当の自社製品
3. 10,000円相当の自社製品

100 株以上 500 株未満 対象株主様向け
QUOカード500円券



Vision 3. 成長戦略へ向けて

持続的成長する企業

新規事業推進による新たな価値の創出へ向けて、
成長分野への積極的投資を行う。



グローバル展開に拠る 売上倍増を目指す

- ☑ 品質への追求を続け経営理念を全うする企業
- ☑ 時代の求める魅力ある個性的な製品を提供する企業

中期経営計画(2016~2018)の位置づけ

「お客様の求める製品・品質・サービスを追及するためには」

戦略
ス
テ
ー
ジ

2009

1st
2010~2013

医薬事業への
積極投資

海外事業基盤作り

4本柱事業確立

財務体質強化

2nd
2014~2015

新規事業への
開発的投資

既存事業への
戦略的投資

海外協業先コラボ

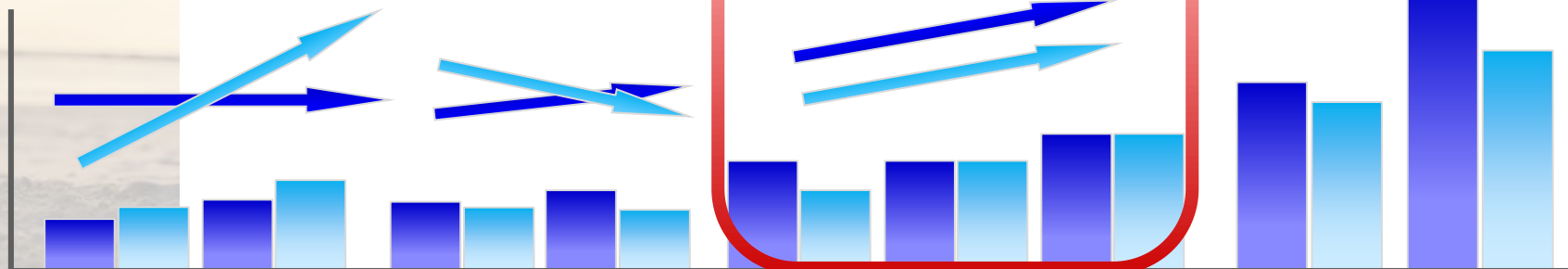
3rd
2016~2018

成長事業へ積極的投資
新サービスの創出
M&A 事業提携

Next
2019~

持続的成長へ

売上 利益



2017年 業績予測(連結)

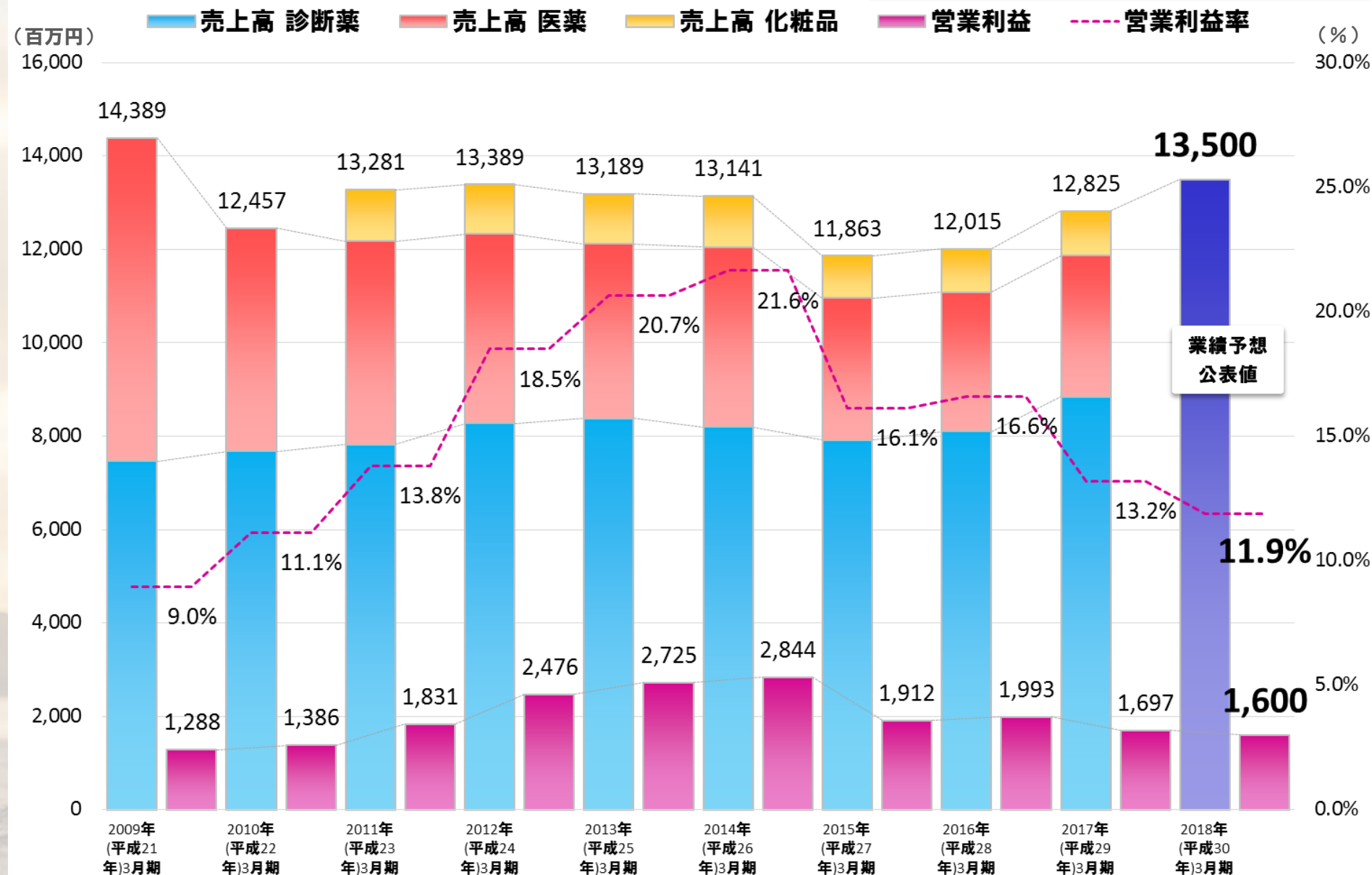
(単位:百万円)	2016年 通期	2017年 通期	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	12,825	13,500	+674	+5.3%
営業利益 (売上比)	1,697 (13.2%)	1,600 (11.9%)	-97	-5.8%
経常利益 (売上比)	1,839 (14.3%)	1,600 (11.9%)	-239	-13.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上比)	1,902 (14.8%)	1,120 (8.3%)	-782	-41.1%

※今期における設備投資などの計画について:

医薬工場における製造ライン適正化・本社移転等、約2億円を計画

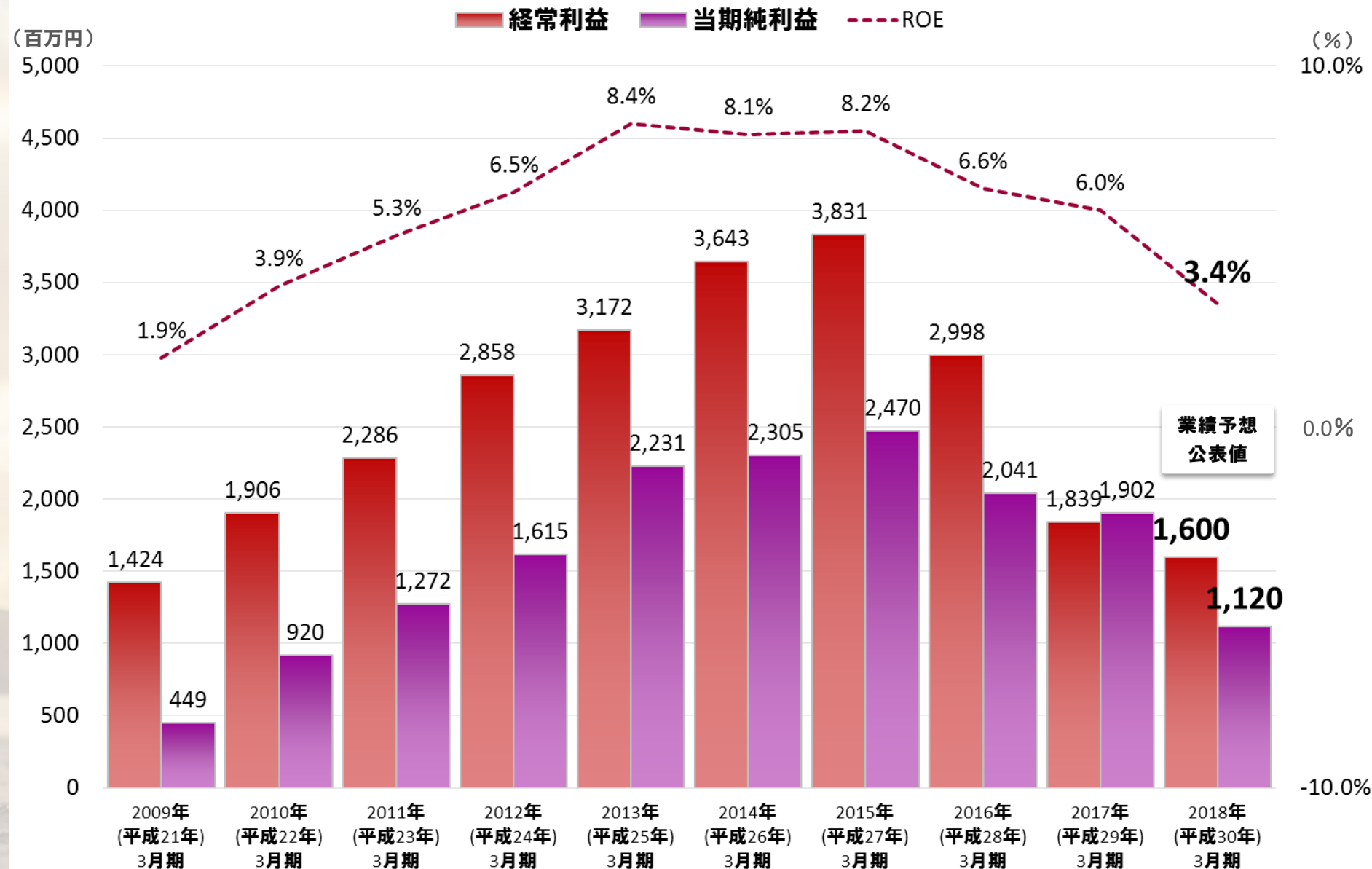
(連結)売上高・営業利益の推移

※財務諸表の詳細については、
決算開示資料をご参照ください。



(連結) 経常利益・当期純利益の推移

※財務諸表の詳細については、
決算開示資料をご参照ください。



既存事業の
利益体制を確立し
その利益を投資



将来性

成長分野への新技術開発投資
(資本参加などのM&A・提携・委託)

拡張性

市場拡大への戦略投資
(市場開拓・製品及びサービス開発)

収益性

製造設備強化への効率的投資
(業務品質向上・事業ポートフォリオ適正化)

オープンイノベーション

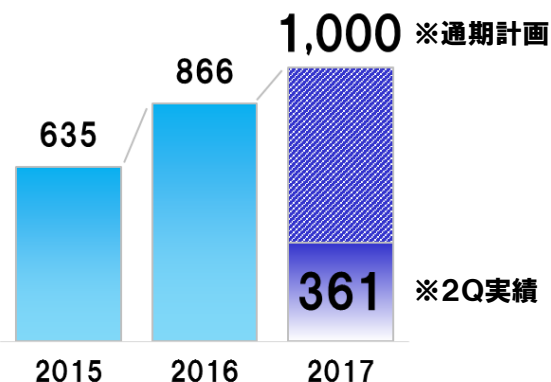
・研究開発費
・設備投資
・人材獲得・専門家育成

➡ 10億円超

オープンイノベーションの推進

研究開発費 推移

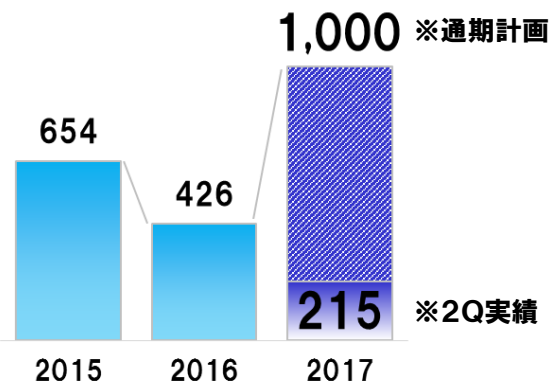
(単位:百万円)



- ・新事業領域への取り組み（再生医療）
- ・外部企業や大学との新技術開発や
新製品開発の継続

設備投資 推移

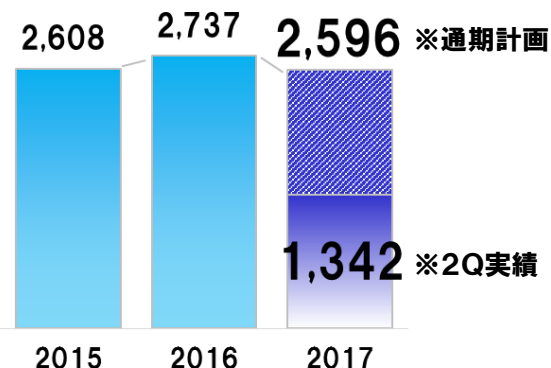
(単位:百万円)



- ・外部委託の活用による生産管理
- ・老朽化施設・設備への対応
(アウトソーシング・リニューアル)

人件費 推移

(単位:百万円)



- ・専門分野における人材の獲得と育成
- ・人材確保(開発・販売・支援)と
同業他社との業務提携

当期の業績について 2017年3Q（連結）

※2016年1Qは、連結財務諸表を作成していないため、増減比は参考値です

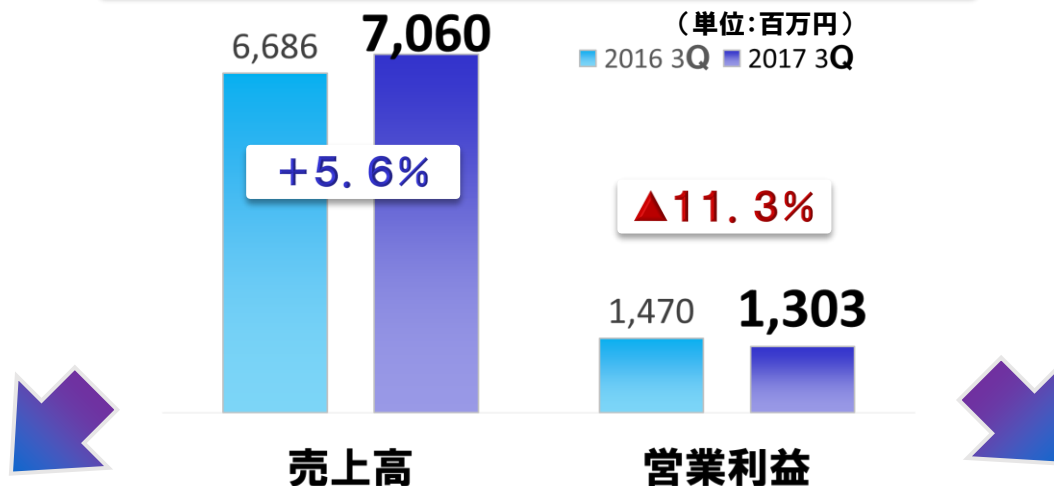
（単位：百万円）	2016 3Q	2017 3Q	増減額	増減率	通期予想	進捗率
売上高	9,513	9,143	▲370	-3.9%	13,500	67.7%
営業利益 （売上比）	1,170 （12.3%）	991 （10.8%）	▲179	-15.4%	1,600 （11.9%）	61.9%
経常利益 （売上比）	1,496 （15.7%）	1,074 （11.8%）	▲421	-28.2%	1,600 （11.9%）	67.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益 （売上比）	1,009 （10.6%）	872 （9.5%）	▲136	-13.5%	1,120 （8.3%）	77.9%

- ・今期から従来の投資有価証券の運用型から事業ポートフォリオ再構築による原資創出型へ転換
- ・第2四半期から化粧品事業の売却における売上高及び営業利益の影響

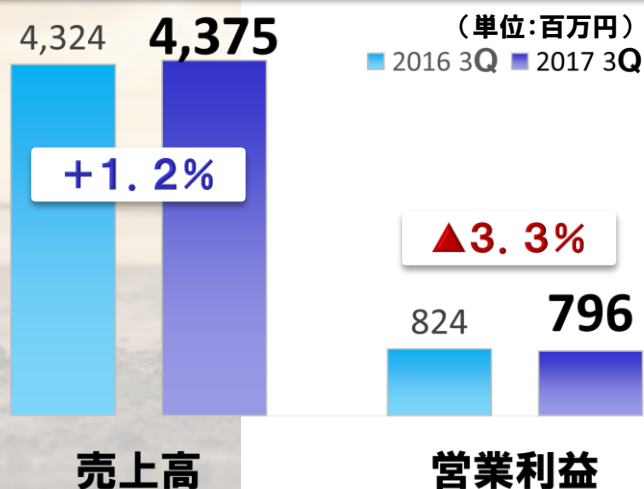
当期の業績について 2017年3Q 事業別 (単位:百万円)

※下記事業部門の営業利益には、
各事業に配賦できない支援部門に係る
費用等が控除されておりません。

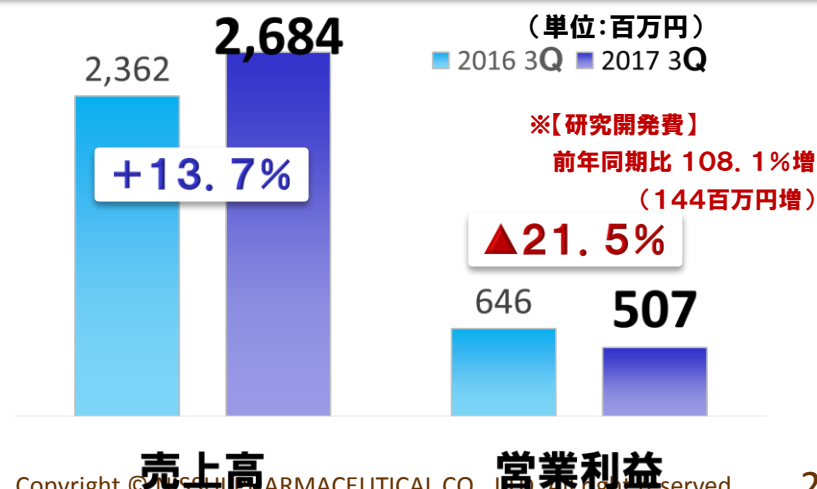
診断薬 当期売上構成比 77.2%



臨床診断薬 当期売上構成比 47.9%



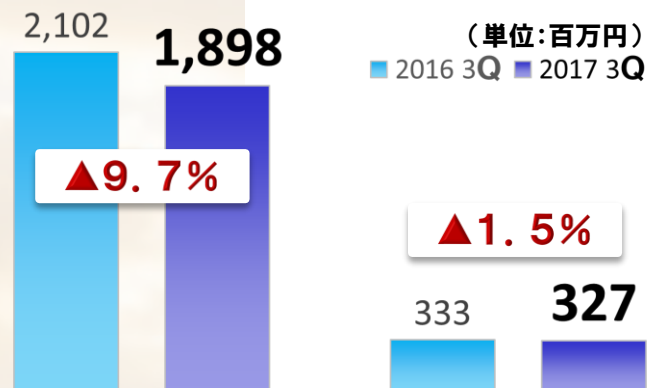
産業検査薬 当期売上構成比 29.3%



当期の業績について 2017年3Q 事業別 (単位:百万円)

※下記事業部門の営業利益には、
各事業に配賦できない支援部門に係る
費用等が控除されておりません。

医薬 当期売上構成比 20.7%

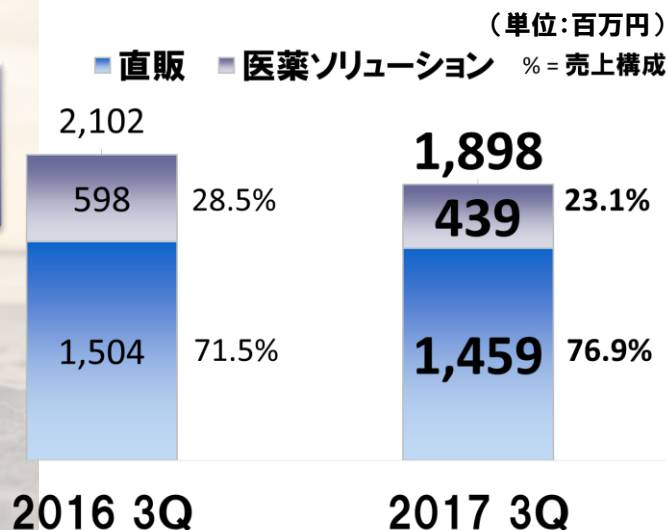


売上高

営業利益



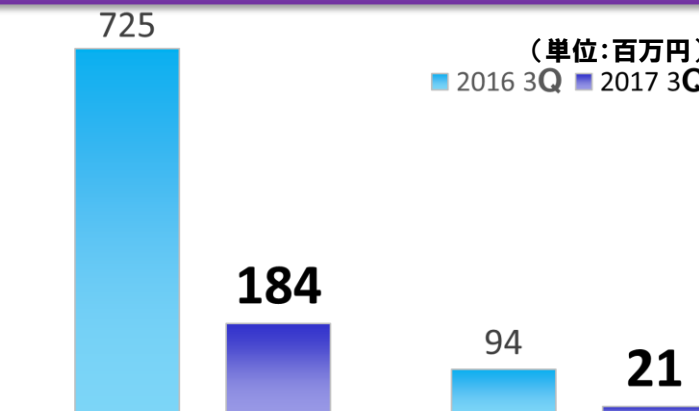
医薬 売上構成比



2016 3Q

2017 3Q

化粧品 当期売上構成比 2.0%



売上高

営業利益



事業の成長に向けた
M & A
(第2Q期首に株式譲渡)

経営戦略（M & A・事業提携 関連）

日水製薬株式会社

臨床診断薬

産業検査薬

医薬（製造）

医薬（販売）

化粧品

100%連結グループ会社

化粧品事業会社

ニッスイファルマ・コスメティックス株式会社

医薬品販売会社

日水製薬医薬品販売株式会社

平成29年6月30日 東証開示
ニッスイファルマ・コスメティックス株式会社
株式会社千趣会へ
全株式の譲渡契約を締結

ウーマン スマイル カンパニー

senshukai



経営戦略（事業ポートフォリオ再構築）

日水製薬株式会社

臨床診断薬

産業検査薬

医薬（製造）

医薬（販売）

日水製薬株式会社

臨床診断薬

産業検査薬

医薬

医薬事業の製造部門を
連結グループ会社へ
簡易吸収分割

100%連結グループ会社

医薬品 販売会社

日水製薬医薬品販売株式会社

卸売販売業

100%連結グループ会社

医薬品 製造販売会社

日水製薬医薬品販売株式会社

卸売販売業 + 製造業 + 医薬品製造販売業

事業ポートフォリオ再構築

これまでは
「投資有価証券の運用型」



- ・事業ポートフォリオ再構築による原資創出型への転換
- ・将来性を見据えた資本提携へのシフト

ビジネスモデルのリニューアル

診断薬

臨床診断薬(既存) 産業検査薬(既存)

- ・インストールビジネス
- ・細菌培養
- ・管理血清
- ・抗体

- ・培地
- ・コンパクトドライ®

新規ビジネス

- ・再生医療
- ・FC原料

売上構成: 80%

医薬

チェーンストア
(健康未来創造研究会)

新規商流

- ・ドラッグストア
- ・通販
- ・インターネット

売上構成: 20%

臨床診断薬

既存ビジネス



【国内】

- ・臨床検査薬装置のインストールビジネスの拡大
- ・同業他社との業務提供・装置保守企業のM&A

【海外】

- ・抗体及び原料受託開発(OEM)ビジネスの推進 欧州・中国
→ 現在: スイス・フランス・日本 (スペイン・中国企業 契約)
- ・「全自動迅速同定・感受性測定装置 RAISUS ANY」
→ 中国市場への展開

臨床診断薬

新規ビジネス



・CPC運用による細胞培養受託サービス ビジネスモデル構築

設備投資→ 国内大手企業と共同運用の契約交渉

強み

医薬品GMP取得メーカー

医薬品GMP準拠の製造環境で製造

オーダーメイド

方向性

細菌、マイコプラズマ、ウイルス → Free証明 <キット開発>

CPC(細胞培養加工施設)運用して、受託・販売サービス開始

1st フェーズ：現在

原料

GMP工場

培地

・一般製品(基礎培地)
・オーダーメイド

2nd フェーズ：着手中

培地

Free
検査キット

マイコプラズマ・
ウイルス・無菌試験

Free証明培地

3rd フェーズ：近未来

Free
培地

細胞培養
受託

CPC

Free検査
受託

マイコプラズマ・
ウイルス・無菌試験

Free証明して
企業へ販売

臨床診断薬

新規ビジネス



【再生医療分野 2】

- ・アーリーステージ(基礎・前臨床)の発掘、情報収集

(仮称)「**日水製薬オープンイノベーションプログラム**」

国内50～100名程度の研究者・施設対象

期限付き、年間総額は数千万円レベル、公募や運営は外部委託を検討

- ・企業への資本参加および買収

バイオベンチャーや研究・製造関連の企業をターゲット

臨床診断薬

新規ビジネス



【再生医療分野 3】

・再生医療用検査試薬の開発、製造、販売

1. 細菌・ウイルス・マイコプラズマ・エンドトキシン フリー証明試薬 開発中

※Myco Finder (マイコプラズマフリー証明試薬) 平成28年4月上市

2. 欧州: Myco Finder 発売予定

フランス → 市場調査・ビジネスモデル策定

オーストリア → バリデーション契約(欧州SOP対応)・販売契約

再生医療用検査試薬を海外市場へ

マイコプラズマ

(開発中)

無菌性試験

(開発中)

ウイルス

(開発中)

エンドキシン

核酸増幅法(NAT)によるマイコプラズマ否定試験が、
培養法やDNA染色法の代替法※2として
単独で利用可能

マイコプラズマ遺伝子検出キット

Myco Finder



マイコプラズマと同じ検出法
(核酸増幅法)で開発中

エンドキシン試験法
(比色法)で開発中

否定試験
キット

否定試験
キット

否定試験
キット

否定試験
キット

(日本を含めた)
海外の再生医療・製薬企業の市場に
製品を供給していく

産業検査薬

既存ビジネス



【国内】

- ・水産加工業向け項目の開発 リステリア・サルモネラ・貝毒
- ・日本水産国内グループ企業への拡売

【海外】

- ・コンパクトドライ拡売



【既存ルート 代理店】中国、東南アジア、欧州、北米中南米、オセアニア

1. 中国・東南アジア(フィリピン、台湾、マレーシア中心に拡大)
2. 北米代理店開発の卓上コロニーカウンターを販促活用

産業検査薬



ニッスイグループ シナジー強化

1. コンパクトドライ



- ・国内グループ及びNGLCへの普及
- ・検査法の統一によるメリット創出
 - 世界共通 検査基準の提案
- ・コロニーカウンターのクラウド構築

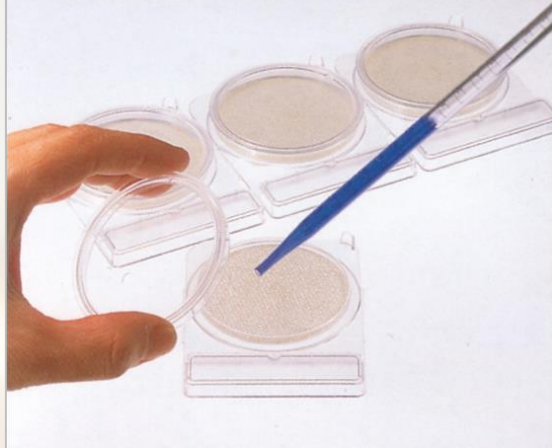
2. ニッスイFC原料使用による機能性表示食品の開発販売

3. コンパクトドライの顧客へFC原料販売の模索

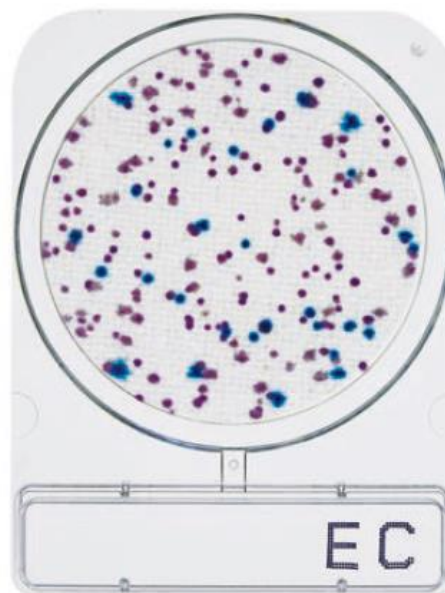


CompactDryTM

There is always a better way.



コンパクトドライ® EC



Incubation Temperature

$35 \pm 2^{\circ}\text{C}$

Incubation Time

24 ± 2 hours

Interpretation

E. coli: Blue / blue purple colonies

Coliform: Total number of both red and blue colonies

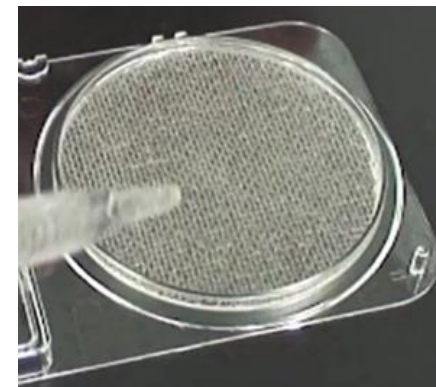


●:大腸菌群 / ●:大腸菌

自動拡散



Self Diffusion



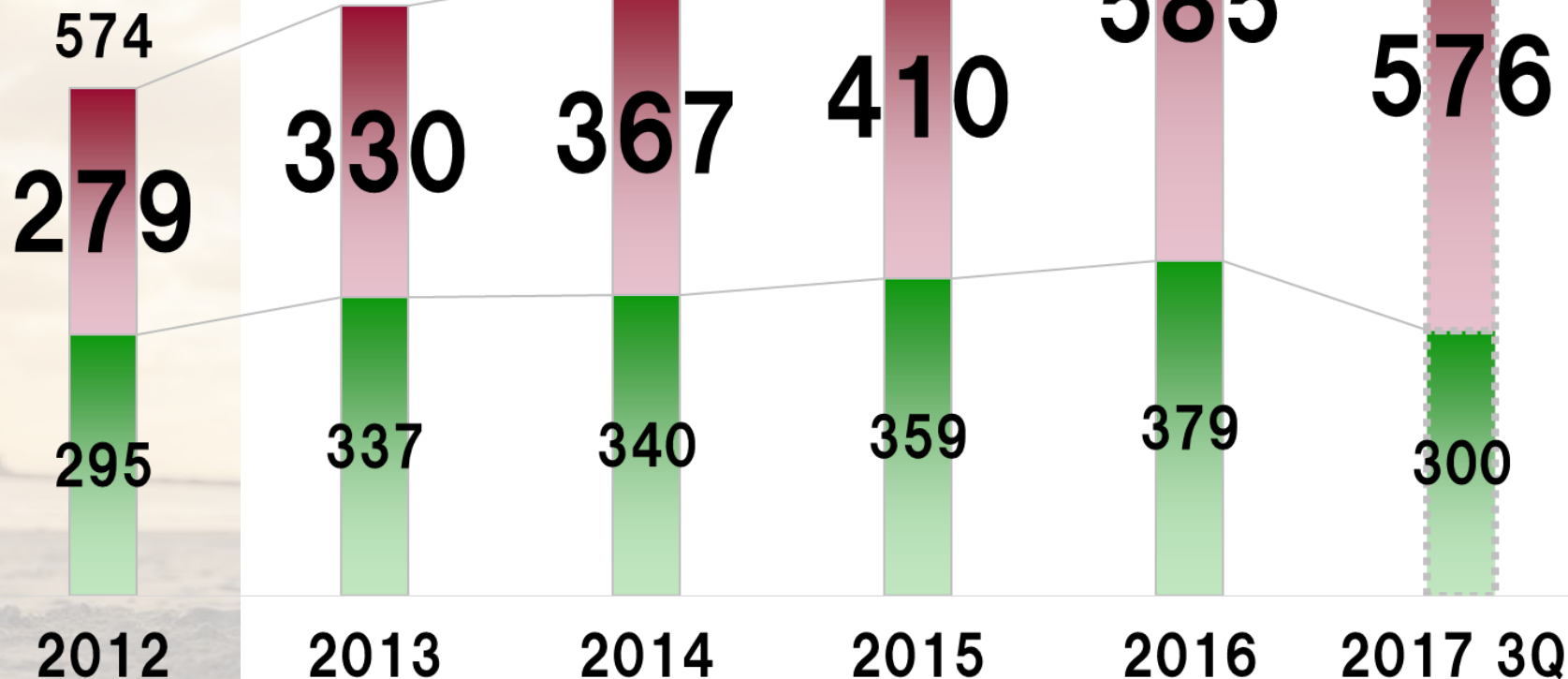
海外食品製造業 コンパクトドライ®拡売

■ 国内出荷 ■ 海外出荷

製品出荷数

※単位:万枚

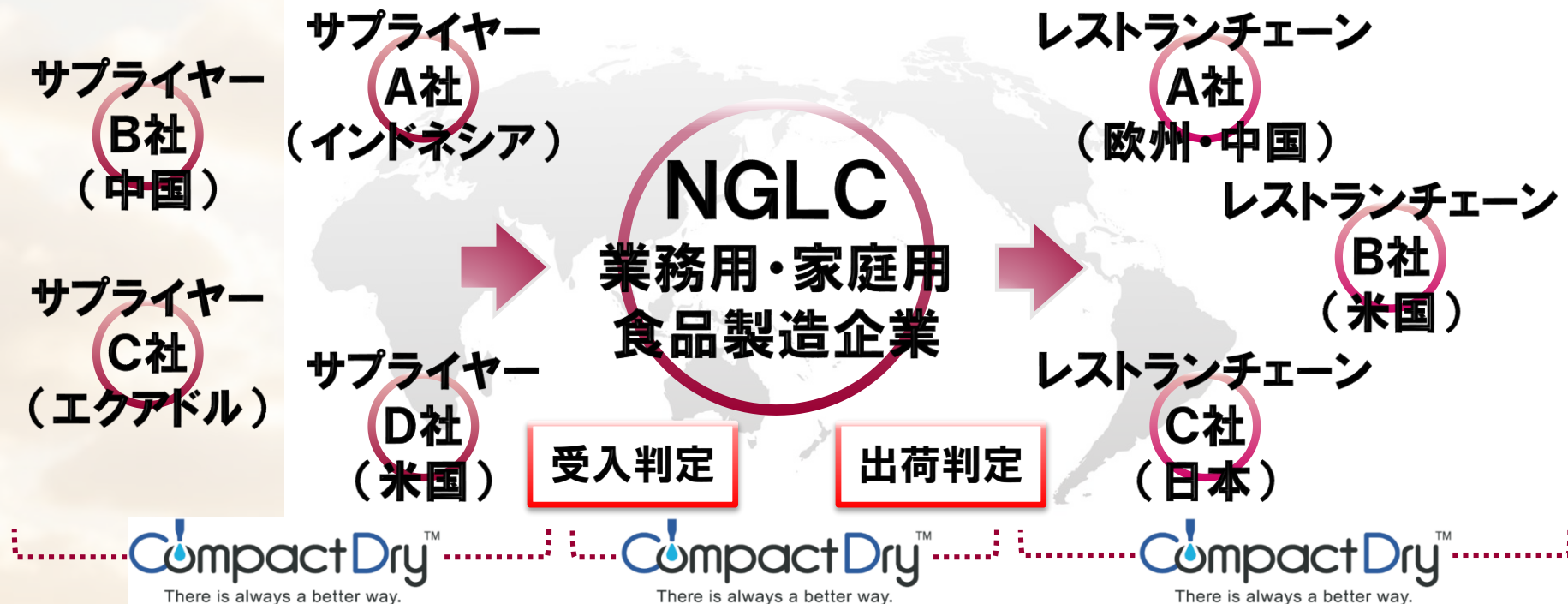
海外出荷数
4～12月実績
前年同期比39%増



食品衛生の国際基準（国際認証）



グローバルサプライチェーンへの取り組み



グローバルサプライチェーン



NGLC



同一検査・アイテム＝コンパクトドライ

導入利点

- ・原料～製品：
一貫したトレーサビリティ確保
- ・検査基準の統一化：
QC・QAの標準化
- ・展開地域の拡大にも対応可

トピックス1 コンパクトドライ® 海外での評価

2014年 WHO ガーナ生活水準調査 ラウンド6 「メインレポート」



飲料水の品質調査について

E. coli was measured in the field, by GLSS6 teams, by filtering 100 mL of sample through a 0.45 micron filter (Millipore Microfil) which was then placed onto Compact Dry EC growth media plates (Nissui, Japan). A 1 mL sample was also tested from the same source directly on a second media plate. Incubation was done at ambient temperature. After 24 hours, the number of blue colonies, signifying the presence of *E. coli* colony forming units (cfu), was recorded.

2014年 WHO/UNICEF ユニセフ公式Webサイト リアルタイム大腸菌検出



「リアルタイム大腸菌検出」 ユニセフによる水質計画と 水質モニタリングの技術支援



2015年 UNICEF バングラデシュ 2012-13 MICS ファイナルレポート



E. coli was measured in the field by MICS teams, by filtering 100 ml of sample through a 0.45 micron filter (Millipore Microfil®) which was then placed onto Compact Dry EC growth media plates (Nissui, Japan). A 1 ml sample was also tested from the same source directly onto a second media plate. Incubation was done at ambient temperature, and field teams were given padded sacks for storing media plates close to their bodies in case of cold weather. After 24 hours, the number of blue colonies, signifying the presence of *E. coli* colony forming units (cfu), was recorded.

トピックス2 コンパクトドライ® 現在進行中

船外機・ウォータービークルの
販売台数の世界首位企業
水質保全事業へのサポート



国際NPO
国境なき医師団(MSF)
サンプル製品 供給開始



米国の知的財産・特許
に関する事業会社
共同事業に関する協議開始

世界の健康およびグローバル開発分野における
技術の発明、開発、導入に重点を置く事業会社との交渉

Amazonクラウドを活用したAIモバイルサービス



全世界
展開

1. 使ってもらう Free

- 一般的な細菌対応
(大腸菌、酵母・カビ、ブドウ球菌など)
- コロニーカウントのみ

認知

2. サービス提供 有料

- 固有的な細菌対応
(腸内細菌、緑膿菌、リステリア属など)
- 集計や統計などの個別情報提供

拡大

3. 集中管理



応用

NGLC

Nissui Pharma Innovation

日水製薬の新しいステージに向けて



新規代理店



中国・フィリピン・ベトナム・インド・台湾

ご清聴ありがとうございました。



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



日水製薬株式会社